



1. 実行委員の皆さん。前列④から岩根涼河さん、梅田直輝さん(上赤星)、地下拓志さん、川上悠さん、前田拓人さん(辺田)、後列⑤から藤本杏南さん(小川)、北田夏姫さん(田島二)、森本遥佳さん(富の原東)、立元昊さん、山内緋美姫さん 2. 式典であいさつをする実行委員長の地下さん⑤

令和8年菊池市二十歳を祝う集い

二十歳の誓い

The Oath of the 20 years old



人生の節目 20歳、気持ち新たに

令和8年菊池市二十歳を祝う集いが1月11日、泗水ホールで開かれました。晴れ着を着た350人の若者が、二十歳の門出に気持ちを新たにしました。

式典では、実行委員紹介の後、委員長の地下拓志さん(巨)があいさつ。「ここにいる私たちが菊池の未来で菊池を動かす原動力になっていく存在です。一つの決断を丁寧に行い、責任のある行動をしていきましょう。もし迷ったとき、困ったとき、つらいときはここにいるみんなが仲間になってくれるはずです。私たちのこれからの可能性を信じ、大きな一歩を踏み出していきます」と力強く話しました。

岩根涼河さん(岩本)の開会宣言の後、江頭実市長が「これからの時代を生き抜き、この先に起きるさまざまな社会的変化にも柔軟に対応して、輝かしい未来を開いていけることを心より願っています」と式辞。中学時代の恩師も駆けつけ、エールを送りました。

実行委員が制作した中学校ごとの思い出をまとめたムービーを上映。懐かしい写真に会場では歓声が上がっていました。川上悠さん(蟹穴)、山内緋美姫さん(村田出身)の「二十歳の誓い」、立元昊さん(高野瀬出身)の飲酒運転根絶宣言の後、閉式宣言で幕を閉じました。

誓いの言葉

挫折や苦しみから学んだ夢の形

山内緋美姫さん

私はこれまで、体調を崩し入退院を繰り返す中で、大きな挫折を経験しました。夢を諦めざるを得なかった悔しさ、どうすることもできない自分への無力感、先の見えない暗闇の中で心が折れそうになった瞬間は、一度や二度ではありません。その苦しみを通して「夢は一つの形にとどまるものではないこと」「夢は形を変え、続いていくこと」「夢を学びました。そして、どんなときも信じてくれる人との出会いこそが、希望の光であることを知りました。私は今、「障害福祉」という仕事に出会い、新しい道を歩んでいます。挫折や痛みは決して無駄ではなく、人に寄り添う心を育ててくれたと信じています。二十歳という節目を迎えたこれからは、大人としての責任を胸に刻み、社会の一員として、誠実に、そして力強く生き抜いていきます。

誓いの言葉

今を積み重ね、誇れる未来を築く

川上 悠さん

この20年間を振り返ると決して順風満帆な道ばかりではなく、多くの経験を重ねた、選択の連続だったと思います。

就職した今でも、将来の道が明確に決まっているわけではなく、ありません。最近では、迷いながら進む時間こそ、今の自分を形作ってくれると感じるようになりました。定まっていなくてもいいということ、可能性が多く残されているということでもあります。だからこそ、「未来の自分が今の自分に感謝している」と胸を張れるよう目の前の経験を大切に積み重ねていきたいと強く思っています。周りと比べるとではなく、昨日の自分と向き合うことが私たちにとって大切な姿勢ではないかと感じています。これまで支えてくださった皆さまへの感謝を忘れず、大人として恥じない行動を心掛け、社会に貢献できる人間へと成長していく決意です。